

成田市文化財審議委員会会議録（平成28年度 第2回）

- 1 開催日時 平成28年11月29日（火） 午前10時から午前12時まで
- 2 開催場所 成田市花崎町760番地
成田市役所 5階 501会議室
- 3 出席者
(委員) 小倉 博委員長、 木村 修副委員長、濱島 正士委員、飯嶋 治通委員、
宮下 陽祐委員、吉岡 秀樹委員、永嶋 千鳥委員、岸田 照泰委員、
高木 博彦委員、白井 久美子委員
(事務局) 関川教育長、秋山生涯学習部部長、田中生涯学習課課長、
寺里係長、寺内主査
- 4 報告
 - (1) 埋蔵文化財の照会状況（平成28年7月～10月）について
 - ・埋蔵文化財の照会件数は、民間・公共事業合わせて46件。内17件については埋蔵文化財の有回答を通知した（別添資料参照）。
 - ・東京電力の電柱等設置事業については、7月～10月までの間に137カ所の照会があり、30カ所が周知の埋蔵文化財包蔵地内であるため、今後立会い調査を実施する。
 - (2) 平成28年度発掘調査について
 - ・成田市教育委員会で実施した3遺跡、千葉県教育振興財団が実施した国道464号及び圏央道建設に伴う発掘調査3遺跡、印旛郡市文化財センターで発掘調査した1遺跡の、合計7遺跡について概要を説明。
 - (3) その他
 - (ア) 平成28年8月22日の台風9号による指定文化財の被害状況について（別紙資料参照）
 - 1) 龍正院仁王門（国重要文化財／建造物）
 - 2) 龍正院本堂（千葉県指定文化財／建造物）
 - 3) 赤荻の大エノキ（成田市指定文化財／天然記念物）
吉岡委員より大エノキ枝折被害状況の報告書について補足説明。
 - (イ) 台方麻賀多神社本殿（成田市指定文化財／建造物）の修繕について（別紙資料参照）
 - (ウ) 台方麻賀多神社神楽（成田市指定文化財／無形民俗）の修繕について（別紙資料参照）

※質疑応答

(1) 埋蔵文化財の照会状況について

・木村委員―埋蔵文化財有回答した3番の三峰山遺跡は中世城郭で、今後の取扱いについて未定となっているが。

→事業者は周知の文化財包蔵地であった場合は、土砂採取事業は実施しない。

・木村委員―市内には約60か所の中世城郭跡が残されている。遺跡の取扱いについては慎重に行ってほしい。

・濱島委員―中世城郭の中で指定文化財されている遺跡はあるのか。教育委員会で調査を実施して指定することは。

→現在、中世城郭跡が指定されているものは1件もない。中世城郭の調査は莫大な費用が掛かる……。

・小倉委員―中世城郭の場合、ほとんどが伝承である。史跡として指定するには史料も少なく、今後の課題の一つである。

(3) その他について

赤荻の大エノキについて

・小倉委員―台風で枝が折れてしまったが、今後も天然記念物として指定継続できるのか。

→吉岡委員―今回、台風によって枝が折れてしまったが、報告書に基づき今後措置を施せば、天然記念物としての価値は保たれているので継続して問題ない。

・飯島委員―樹木の手入れはどのようにしたらよいのか。枝を切った方が長持ちするのではないか。伐り方にもいろいろ方法があるのでは。

→高木委員―県文化財課に在籍した時代は、「触るな、手を加えない」が基本方針であった。

・飯島委員―樹木は折れるものである。天然記念物だから枝を切らないというのは、将来必ず倒れてしまうのではないか。

→吉岡委員―「どれ位手を加えた方がよいのか」という問題は、腐食部分がある場合は何らかの手当てが必要であろう。なお、天然記念物の概念は、外来種の樹木は指定外となってしまう。個人的には、例えば三里塚御料牧場記念館前の「マロニエ並木」はずっと残したい樹木である。

台方麻賀多神社本殿・拝殿について

・木村委員―麻賀多神社の拝殿（未指定）であるが、麻賀多神社は式内社である。解体後文化財の調査には、細心の注意をはかってほしい。

→拝殿の解体後調整します。

5 傍聴者

なし

6 次回開催日時（予定）

未定